

大阪市イノベーション促進評議会 令和2年度第1回 会議要旨

1 日時

令和2年7月29日（水曜日）15時00分～16時48分

2 場所

大阪イノベーションハブ（OIH）、及びWeb

3 出席者

正城委員長、東委員、竹村委員、田中委員

事務局（馬越部長、松本課長、田原課長代理、井上課長代理、湊上課長代理ほか）

4 議題

<協議事項>

- （1）令和元年度の主な取組みについて
- （2）令和元年度の事業評価について

<報告事項>

- （3）グローバル拠点都市選定について
- （4）当面の取組みについて（令和2年度）

5 会議要旨

議題（1）（2）に関する事務局の説明に対し、各委員より以下のとおり意見具申。

[主な発言内容]

- ・コロナで大変な状況でも非常に大きく目標を達成し、特に海外発信について大きく進展できたことは心強い。
- ・海外では、コロナ禍でも世界の女性起業家が集まって、時差別ピッチイベントが行われたが、特に日本からは凄く少ない印象。現状、圧倒的に数もリソースもサポートも少ない女性起業家には、独特の悩みもあるので、OIHでも女性起業家の育成に特化したイニシアチブも御検討いただきたい。

- ・コロナで「できなかったこと」だけでなく「できたことを評価する」のも重要。
- ・「集客イベントができない」ではなく、「オンラインならできる」と考えれば良い。
- ・グローバルにオンラインで繋がると、大阪・東京という差は全くない。
- ・オンラインであれば、大阪の創薬、テクノロジー、ものづくりに対して世界中から簡易にアクセスできるので、このチャンスを活かしていくことが重要。
- ・オンラインの強みを最大限生かしてグローバルで存在感のある大阪市になっていく、かつ関西圏が連携をしてグローバルで関西の名前を出していくというのは重要。
- ・広域でエコシステムをつくる機関を創設し、PRしたのは大阪が日本初。非常に良かった。
- ・コミュニティはたくさんあるが、胴元的な発想・仕掛けが無い。今後、オンラインによる合理化が進み、コミュニティづくりも変わってくる。「各コミュニティをどう効率よく連結していくのか」が重要になってくる。オンライン上のコミュニティ設計へのトライを期待。
- ・OIHでも高校生向けのイベントはかなり活性化されている印象だが、他県での更なる起業部活動の活性化を受け、教育機関とOIHが直接繋がる機会が増えても良い。スタートアップとの連携先の選択肢に高校生も入ってくると、卒業後の進路でSTEAM・技術系など、課題解決の先端分野への意識も広がる。
- ・高校生でも首相官邸に乗り込んで内閣補佐官に政策提言するなど、オンラインでアウトプットもして自ら行動するところまでちゃんとコミットして動いている高校生が出てきている。OIHでも、自発的に動き出した高校生や若者たちを逆に「どう受け入れるのか」という点も重要。
- ・大阪として、拠点都市としての教育がどうあるべきか設計していくと、次代の大阪を担う人材育成というところが出てくるのではないかな。
- ・資料2のとおり、行政が地道な活動を丁寧に行っている点が非常に素晴らしい。
- ・拠点都市選定の結果が出ただけでなくプロセスがとにかく良かったので継続して欲しい。
- ・人事異動もある中、カルチャーが根つき、継続的な毎年のステップアップに繋がっている。今後も、その文化を継続して、このオンラインとのハイブリッドの時代に新しい形に発展させていきたい。

議題（３）（４）に関する事務局の説明に対し、各委員より以下のとおり意見具申。

[主な発言内容]

- ・スーパーシティやスマートシティや拠点都市など都市選定プロセスの比重が増えているが、

最終的に選定／実装されているのは全部都市なので、政策横連携を期待。公共調達の拡張が重要で、自治体がファーストクライアントになるような仕組みも出てくるのではないかな。

- ・府市のスマートシティ部門とも連携してエコシステムを創っていく取組みを期待する。
- ・拠点都市選定の収穫は一つアカデミア。技術をどのように社会実装するか、まちを挙げてインキュベートしていただきたい。
- ・ビジネス面において、D X時代は対面がかなり減るはず。二拠点生活が進むのではないかな。
- ・コロナ禍でリモート化が進展し、「都市の必要性」、「場所の重要性」が変わってくる。
- ・「大阪」「関西」という都市の重要性がどこにあるのか、きちんと定義していく必要がある。
- ・古来より大阪は商人文化が盛んで起業家も多数輩出してきた。そういった大阪の魅力を世界に発信し、チャレンジできる環境をPRすることは人材の多様性を生み出す上で非常に重要。
- ・今後の成長産業であるライフサイエンスが強いのはアピールポイントになる。ウェルビーイングの重要性が増す中、大阪が選ばれるための魅力をどう創っていくかという視点も重要。
- ・大阪市も小中学校に対するICT関連施策を前倒ししているので、多様性の広がりを期待。
- ・以前は海外ゲスト招聘に予算、時間、空間の制限があったが、距離と時間の壁が消失し、録画映像配信も簡略化された。より多くの方々を呼べるなど「逆転の発想」で進めて欲しい。
- ・古い常識を取っ払った形で、これまでの財産を最大限に生かす活動をしていただきたい。
- ・最近、大阪ではスタートアップが上場し始めている。大企業が内部留保を出資金として関西企業に還流することや、上場した起業家はその資金を還流させることは凄く重要。東京以外の都市にファンドが無いことがデメリットだったが、大阪でもそういう環境が整ってきたことが凄く大切で、O I H周辺にその人達がいることも重要。
- ・関西の起業家が後輩の企業に対して出資だけではなく経営指導を行い始めている。従前は東京にしかなかった環境が大阪でも生まれ始めているのは、府と市の取組の成果だと思う。
- ・人が集い、新たな企業をつくろうとしていることが重要。成長した企業が次の企業をいかに育てていくか、東京を超えるようなエコシステムを本当につくる気概があるかが問われる。